

CO₂インキュベーター庫内などの 非常に湿度の高い環境下で、安定的に使用 できる振とう機。発熱量も低く庫内温度に 影響を与えません。

特長

- 水没試験にも耐える防水性で高湿度環境下の長期間運用も安心
- 抗菌加工が施された標準架台
- 操作部は庫外に設置可能(有線2m)

用途

- CO₂インキュベーター内での動物細胞の振とう培養
- iPS細胞など、幹細胞の穏やかな振とう培養
- グロースチャンバーなどの高湿度環境下での振とう

型名	CS-LR
振とう方式	往復/旋回切換式
振とう速度	15~200r/min
振幅	25mm (20mmへの変更も可能) (*1)
架台有効寸法	300×200mm
使用環境温度/湿度範囲	0°C~+50°C / 95%±5%R.H.以下
許容負荷質量	約3kg (振とう台および容器ホルダーを含む)
本体外形寸法	振とう部: 302×240×129Hmm 制御部: 125×30×70Hmm
本体質量	振とう部: 約7kg / 制御部: 約0.5kg
電源	AC100V・1A
本体価格	¥325,000

(*1) 変更は弊社サービスマンが行います。ご希望の場合はご連絡ください。

往復/旋回振とうを切換可能

容器の形状に応じて、往復と旋回振とうの切り換えが可能です。シャーレは低速で往復振とう、三角フラスコは旋回振とうという具合に使い分けことができます。低速においても滑らかで正確な振とうが行えます。また低速から徐々に安定して振とう速度を上げていくので、サンプルへのストレス低減に効果があります。

水没試験にも耐える高い防水性



振とう部は、開発時の性能テストにおいて、30分間の水没試験および5分間の運転試験をクリアする高い防水性を有しています。
(左下の二次元バーコードで試験時の動画をご覧ください)

※水中での使用を保証する試験ではありません。

分離式のコントローラー



コントロールパネルを振とう部本体から離して庫外に設置(有線2mのケーブル)し、外部から振とう速度などの調節ができます。つまり低温インキュベーターやCO₂インキュベーター内の高湿度下などの過酷な環境に振とう部分を設置しても、操作部分は影響を受けません。



往復/旋回切換



ツメクランプ振とう台
MT-2030使用例



二段化振とう台
WR-2030使用例



CS-LRツメクランプ振とう台
MT-3636使用例

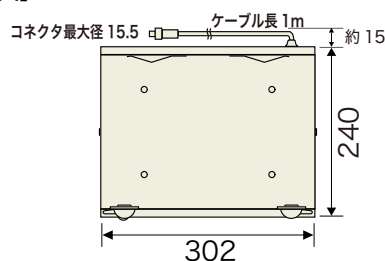
清潔なステンレス外装と抗菌加工された標準架台

振とう部の外装は清潔なステンレス製。さらに標準架台はKENIFINE™による抗菌加工が施され、培地がこぼれた時や水滴が付着した時などの菌/藻/カビ/ウィルスの増殖を大幅に抑制します。

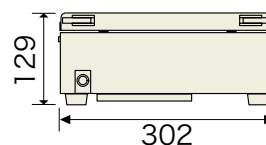
※KENIFINE™(ケニファイン)は(株)神戸製鋼所の商標です。従来の無機系抗菌材料に比べ抗菌性だけでなく防カビ性、防藻性、抗ウィルス性が高く、耐久性にも優れた抗菌性コーティング技術です。

●外形図

【平面図】



【正面図】



※可動部の旋回寸法(振幅25mm時): 328×257 ※ケーブルも含めた設置寸法: 328×276
※より詳細な設置寸法については右ページを参照ください。

更に詳しい情報はQRコードまたは <https://taitec.info/2024b/70> にて

●製品Web ●動画: 水没試験の様子

●本製品を入れることが可能なCO₂インキュベーター→P.050~051



CS-LR 別売部品

●振とう台 詳細は下記およびP.073をご覧ください。

品名/型名	適用容器と架数例	価格
ツメクランプ振とう台 MT-2030 (*1)	各種三角フラスコ。最大架数は100mL:12個 250mL:6個、300mL:6個、500mL:3個	¥16,000
CS-LRツメクランプ振とう台 MT-3636 (*1, 2, 3)	各種三角フラスコ。最大架数は100/200mL:18個 250mL:14個、300/500mL:9個、1L:5個	¥28,000
二段化振とう台 WR-2030 (*4)	6cm dish: 最大24枚 50mL TCフラスコ: 最大12個	¥37,000
大型振とう台 WR-3636LR (*3)	6cm dish: 最大36枚 40mL TCフラスコ: 最大28個	¥33,000
スプリングネット振とう台 MR-2030	50mL ディスポ遠沈管: 最大24本架	¥33,000

(*1)別売のツメクランプが必要です。(*2)CS-LR専用です。160r/min以下でご使用ください。(*3)MG-70/71シリーズには入りません。(*4)容器の滑り止めにはスティックシート ST-2030 ¥11,000が別途必要です。
●各振とう台には抗菌加工は施されておりません。

●三角フラスコ用ツメクランプ

ツメクランプ振とう台に取り付けて使用します

型名	CF-0100	CF-0250	CF-0300	CF-0500
適用する三角フラスコ	100mL	250mL	300mL	500mL
価格(1個)	¥3,000	¥4,000	¥5,000	¥6,000

●別売部品 CS-LR用設置台

型名	CS-3024
MG-71シリーズ庫内の加湿トレイを跨ぐように設置可能にする置き台	
価格	¥25,000



●加湿トレイは付属しません。

CS-LR 参考資料

●振とう方式と容器、振幅の参考

試験管やTCフラスコで往復。容器に応じた振幅

振幅 25mm で適度な解凍や懸濁

スプリングネット振とう台 MR-2030

振幅 20mm でガス置換を促進

スティックシートST-2030、ほかスティックシート付属の振とう台を推奨

CS-LRツメクランプ振とう台 MT-3636 + ツメクランプCF-0500x9

振幅 25mm、500mL フラスコ 9本の培養

フラスコやウェルで旋回。容器に応じた振幅

振幅 25mm 250mL フラスコでの Seed 培養

ツメクランプ振とう台 MT-2030 + ツメクランプCF-0250x6

スティックシートST-2030やスティックシートが付属する二段化振とう台WR-2030、大型振とう台WR-3636LRを推奨

振幅 20mm、6ウェルでスクリーニングやオルガノイド培養

二段化振とう台 WR-2030

CS-LR専用のツメクランプ振とう台。三角フラスコを多数かつ安定に振とうさせたい場合に最適です(ツメクランプは別売)。160r/min以下でご使用ください。振とう台寸法: 360x360mm

●インキュベーター庫内に入れる際の参考資料

【平面図】

ケーブル分を考慮 **280mm以上**を確保 (MT-3636/WR-3636LR使用時は400mm以上)

振とうによる接触を防ぐには**330mm以上**を確保 (MT-3636/WR-3636LR使用時は400mm以上)

【正面図】

500mL フラスコなら **400mm以上**

250mL フラスコなら **360mm以上**を確保

CS-LR用設置台 CS-3024

取り出しに30mmぐらゐ

約180mm

約140mm

129mm

最大58mm

31~45mmの範囲で高さ調整可

更に詳しい情報は QR コードまたは <https://taitec.info/2024b/71> にて

●製品Web ●動画: 水没試験の様子

●本製品を入れることが可能なCO₂インキュベーター→P.050~051

